

質問回答

平成 26 年 4 月 23 日

「ウガンダ国ウガンダ中央部・東部地域灌漑地区開発計画」

(公示日:平成 26 年 3 月 26 日 公示番号:3)について、以下のとおり回答いたします。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 第 5 プロポーザルに記載されるべき事項 3 業務従事予定者の経験、能力等 3 ページ (2) 評価対象業務従事者の経験、能力等	【業務従事者:担当分野 灌漑開発計画】及び【業務従事者:担当分野 営農土地利用】について、「1) 類似業務の経験」に“ アフリカにおける ”と記載されているが、地域については、「2) 対象国または類似地域」で評価されており、「1) 類似業務の経験」中で、対象国や地域の経験を問う必要性はないと考えられるが、なぜこの記述があるのでしょうか。	【業務従事者:担当分野 灌漑開発計画】については類似業務経験に「アフリカ」は不要です。 【業務従事者:担当分野 営農土地利用】については、アフリカとアジアでは大きく状況が異なるため、アフリカでの業務経験を評価対象としました。
2	第 9 プロポーザルの評価 6 ページ (2) 評価対象とする業務従事者の予定人月数	評価対象とする業務従事者の予定人月数は 41.50 MMとありますが、左記は第 1 期および第 2 期の合計と想定します。第 1 期分についてはどの程度想定されているかご教示いただければ幸いです。または特段、各期毎の評価対象の MM を決めていないということであれば、その旨ご教示いただければ幸いです。	第 1 期分は 13.5MM を想定しています。
3	第 2 業務の目的・内容に関する事項 5. 実施方針及び留意事項 2 ページ (1) 調査の進め方と	(1)「本案件では契約期間を 2 つ分け」というのは、契約自体は、1 契約であるが、名称として第 1 期、第 2 期と名付けているのでしょうか。あるいは、第 1 期と第 2 期と契約を二つに分けるという	(1) 契約自体を二つに分け、各期に契約締結します。 (2) 1 年次から 2 年次に引き継ぐ随意契約となります。ただし、第 2 期契約は、第 1 期結果に基づ

	F/S の取り扱い	<p>ことでしょうか。</p> <p>(2)契約を分ける場合、第 1 期契約期間の終わりから第 2 期契約期間開始までの間は、どの程度時間が必要になりますか。第 1 期から第 2 期への契約の手続きはどのように行われるのでしょうか。また、通常の「1 年次」から「2 年次」に引き継ぐ随意契約でしょうか。</p> <p>(3)「プロポーザルにおいては、第 1 期までの業務についてのみ提案する」とありますが、第 2 期に予定されている作業項目(F/S や地形図の作成等)の業務実施方法についてプロポーザルに記載する必要がないということでしょうか。また、見積りの範囲も、第 1 期の業務に係る経費のみを計上するのでしょうか。</p>	<p>き契約交渉により決定します。</p> <p>(3) 第 2 期の業務実施方法については、プロポーザルに記載願います。見積金額については第 1 期のみを記載願います。</p>
4	同上	<p>第 2 期の契約の際、第 2 期から追加されるポジションを考慮し、共同企業体構成員を追加することは可能でしょうか。</p>	<p>可能です。</p>
5	<p>第 2 業務の目的・内容に関する事項</p> <p>P2: 対象地域(10 地域) 対象地域(10 カ所)</p> <p>P5: 対象 10 地域 対象 10 地区</p> <p>P6: 10 地域 10 地区</p> <p>P7: 優先開発地域 優先開発地区</p>	<p>業務名は「中央部・東部地域灌漑地区開発計画」であることから、詳細計画調査報告書の中で使い分けられているように、中央部および東部に対しては「地域」、灌漑地区(Scheme)を指す場合は「地区」という用語を使用した方が適切と思われます。</p> <p>指示書の記載は、中央部・東部地域の他、灌漑地区に対しても地域という用語が使用されていますが、これは詳細計画調査報告書に準じて「地区」という用語を用いても良いでしょうか。</p>	<p>灌漑地区に関しては「地区」で統一願います。</p> <p>また、「優先開発地域の提案」とは「優先開発地区の提案」に読み替え願います。</p> <p>また、「第 1 期 対象地域別灌漑開発計画の作成」は、「第 1 期 対象地区別灌漑開発計画の作成」に読み替え願います。</p>

		<p>指示書の「優先開発地域の提案」の意味するところは、「優先開発地区の提案」という理解で良いでしょうか。</p> <p>指示書 P4 の「第 1 期 対象地域別灌漑開発計画の作成」は、「第 1 期 対象地区別灌漑開発計画の作成」という理解で良いでしょうか。</p>	
6	<p>第 2 業務の目的・内容に関する事項</p> <p>6. 業務の内容</p> <p>(5) 対象地域の社会経済調査の実施</p>	<p>「コンサルテーションミーティング」とは「社会調査を実施するにあたり、調査対象者に本業務の目的の理解を図り、調査への協力を依頼するもの」という認識でよろしいでしょうか。あるいは、「ワークショップ等を組み込んだ参加型の意見交換会」という認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>「ワークショップ等を組み込んだ参加型の意見交換会」を実施願います。</p>
7	<p>第 3 業務実施上の条件</p> <p>2.業務量の目途及び業務従事者の構成(案)</p> <p>10 ページ (1)業務量の目途 (2)業務従事者の構成(案)</p>	<p>「積算/調達計画」、「測量(撮影監督/調査管理)」のMMは、第 2 期に想定されている 55MMに含まれるのか。</p>	<p>含まれます。</p>
8	<p>第 3 業務実施上の条件</p> <p>3.相手国の便宜供与</p> <p>10 ページ (4)</p>	<p>エンテベ市内に提供される事務所スペースは、本案件団員および現地傭人を収容できる広さか。収容しきれない場合、別途調査団で事務所を確保しなくてはならないが、その費用は今回見積もるべきか。あるいは調査開始後、変更契約にて追加することになるか。</p>	<p>現時点では、4m×3.5m、5m×3.5mの2室を確保予定です。現在のMAAIFの執務スペースにこれ以上のスペースの確保は困難であるところ、原則として本スペースを活用いただくことで対応願います。やむを得ずこれ以外を希望する場合は、その理由および希望内容をプロポーザルに記載するとともに、別見積にて計上願います。</p>

9	<p>業務指示書 第 2:業務の目的・内容に関する事項 6 ページ 6. 業務の内容 (5) 対象地域の社会経済調査の実施及び 第 3:業務実施上の条件 11 ページ 5. その他留意事項 (3) 現地再委託</p>	<p>2.6(5)において「なお、本調査においては、ローカルコンサルタントや NGO 等の現地リソースへの再委託を可とし、当経費については見積に含めることとする」とあります。社会経済調査の経費は本見積または別見積のどちらに含めるべきでしょうか。再委託に係る見積価格は提案する実施方法や委託先により異なります。価格競争を想定することで、再委託先の質を下げざるを得ない場合や、再委託業務に係るスコープの制限等が懸念され、本プロポーザルの適切な競争が妨げられることも考えられます。2.6.(11)研修等の実施同様に別見積にするようご検討頂ければ幸いです。</p>	<p>別見積とせず、見積に含めてください。</p>
10	<p>第 2 業務の目的・内容に関する事項 7.成果品等 8 ページ (2)インテリムレポートの作成・合意 9 ページ (1)報告書等 表内インテリムレポートの欄</p>	<p>インテリムレポート提出時期について、では「第 2 期の 2015 年 7 月以降」、では「2015 年 6 月上旬」(第 1 期中と推察される)と、記載事項に齟齬がある。 「P.8, (2)インテリムレポートの作成・合意」は第 2 期の作業項目という理解でよいか。</p>	<p>「P.8, (2)インテリムレポートの作成」は第 1 期の成果品に含めるところ、第 1 期中の作業項目とします。業務指示書第 2: 7.成果品等について、別添のとおり修正します。</p>
11	<p>業務指示書 第 2:業務の目的 4 ページ 6. 業務の内容及び 7. 成果品 (1) 報告書等</p>	<p>6. 業務の内容において<第 1 期(対象地域別灌漑開発計画の作成と優先対象地域の選定)>: 2014 年 5 月~2015 年 6 月>とあります。一方で、7.成果品等の提出時期として、灌漑開発計画は「2015 年 2 月中旬」と定められています。 今般プロポーザル提出が 5 月 8 日およびプレゼンテーションが 5 月 12 日と設定されている中、5 月中の契約締結・作業開始は難しいと考えま</p>	<p>6 月上旬開始とします。なお、業務指示書第 2: 6.業務の内容について、別添のとおり修正します。 上述「10」のとおりとし、インテリムの提出期限は により案件が開始された場合は 2015 年 5 月とします。 第 1 期の期間は、2014 年 6 月から 2015 年 6 月とします。</p>

		<p>す。6月開始を想定という理解でよろしいでしょうか。</p> <p>第1期の成果品を「灌漑開発計画」と理解した場合、7.(1)にあるとおり同レポートの提出が2015年2月中旬だとすると、第1期の期間(履行期限)は2015年2月末辺りと考えますがよろしいでしょうか。</p> <p>以上より、第1期の期間は、2014年6月～2015年2月と考えますがよろしいでしょうか。</p>	
12	<p>業務指示書 第2:業務の目的 8ページ 6.業務の内容 及び 7.成果品 (1)報告書等</p>	<p>6.業務の内容<第2期(フィージビリティスタディ(F/S)):2015年7月~2016年6月>とあります。一方7.(1)ではインテリムレポート提出は2015年6月上旬となっています。現時点で想定されている第2期の期間につきご教示いただければ幸いです。</p>	<p>概ね13か月間を想定していますが、第1期結果次第で調整します。</p>
13	<p>業務指示書 第3:業務実施上の条件 10ページ 3.相手国の便宜供与 (2)事務所スペース(エンデベ市内)</p>	<p>相手国の便宜供与に含まれる事務所スペースですが、机および椅子も含まれているのでしょうか(机椅子が含まれる場合、その個数につきましてご教示頂ければ幸いです)。事務所の光熱費も便宜供与に含まれるという理解で宜しいでしょうか。</p>	<p>イス、机も含まれますが、数量については交渉が必要です。プロポーザルにて必要数をご提案ください。 MAAIF内で勤務する場合に限り、含まれます。</p>
14	<p>業務指示書 第3:業務実施上の条件 11ページ 5.その他留意事項 (4)プロジェクト活動に必要な資機材</p>	<p>「プロジェクト車両については2台を調達予定」とありますが、これにはドライバー、車輛燃料および車輛保険料は含まれているのでしょうか。</p>	<p>車両のみ調達となるところ、ドライバー、燃料費、保険料は見積に含めてください。</p>

15	第3 業務実施上の条件 5.その他留意事項 11 ページ (4) プロジェクト活動 に必要な資機材	提案内容によって必要な機材が異なると考えられるので、必要な資機材の見積りは、研修等の実施と同様に別見積もりと考えてよいか。	別見積とはせず、見積に含めてください。
----	--	---	---------------------

以上

変更前	変更後
<p>6. <u>業務の内容</u></p> <p><第1期(対象地域別灌漑開発計画の作成と優先対象地域の選定):2014年5月~2015年6月></p> <p>(12) <u>灌漑開発計画及び優先開発地域の説明・合意</u> 灌漑開発計画及び優先開発地域の提案について JCC で説明し、合意を得る。</p> <p><第2期(フィージビリティスタディ(F/S)):2015年7月~2016年6月></p> <p>(2) <u>インテリムレポートの作成・合意</u> <u>ア 活動成果や課題をカウンターパートとともに取りまとめる。なお、本レポートには、活動計画や留意点、改善点も盛り込むこととする。ウガンダ側、JICA ウガンダ事務所の確認やコメントも得た上で、インテリムレポート(案)を JICA に提出する。</u> <u>イ JICA に確認が取れたインテリムレポート内容を JCC にて説明し、協議を行い、今後のプロジェクトの基本方針、方法、行程等について JCC の合意を得る。</u></p> <p>(3)~(5)(略)</p>	<p>6. <u>業務の内容</u></p> <p><第1期(対象地域別灌漑開発計画の作成と優先対象地域の選定):2014年6月~2015年6月></p> <p>(12) <u>インテリムレポートの説明・合意</u> <u>活動成果や課題をカウンターパートとともに取りまとめ、灌漑開発計画及び優先開発地域の提案と併せて、インテリムレポートを作成し JCC で説明し、合意を得る。なお、インテリムレポートについては、事前に案を JICA に提出し確認を得ること。</u></p> <p><第2期(フィージビリティスタディ(F/S)):2015年7月~2016年6月></p> <p>(2)(削除)</p> <p>(2)~(4) 番号を繰り上げる。</p>

7. 成果品等

(1) 報告書等

レポート名	提出時期	部数
インセプションレポート	2014年6月上旬	和文:5部 (JICA本部、事務所、PRiDe、農業計画アドバイザー、灌漑政策アドバイザー各1) 英文:15部
灌漑開発計画	2015年2月中旬	和文:5部 英文:15部
インテリムレポート	2015年6月上旬	和文:5部 英文:15部
ドラフトファイナルレポート	2016年4月上旬	和文:5部 英文:15部
ファイナルレポート	2016年6月上旬	和文:5部 英文:15部 CD-R(和・英)5部

7. 成果品等

(1) 報告書等

レポート名	提出時期	部数
インセプションレポート	2014年6月上旬	和文:5部 (JICA本部、事務所、PRiDe、農業計画アドバイザー、灌漑政策アドバイザー各1) 英文:15部
<u>インテリムレポート</u> (<u>灌漑開発計画を含む</u>)	<u>2015年5月下旬</u>	和文:5部 英文:15部
ドラフトファイナルレポート	2016年4月上旬	和文:5部 英文:15部
ファイナルレポート	2016年6月上旬	和文:5部 英文:15部 CD-R(和・英)5部